

「栴拭漆飾箱」 栴の木の珍しい杢木を使った飾箱。蓋は印籠蓋とし、中には使い勝手を考慮して懸子が付く。蓋の甲(上面)から箱の身の側面にかけて浅い丸溝を3本入れることで、光の反射の変化が演出され、見る角度によって多彩な表情を見せるようにデザインしました(W210×D150×H150)。

参考価格 300,000円

「Shelves」 蟬引きして仕上げた薄い神代杉の板と真鍮のフレームで構成した壁掛けタイプの棚。真鍮のフレームを用いることで板の厚みを最大限薄くし、木工だけでは表現できないプロポーションを目指しました(W300×D115×H200)。

参考価格 40,000円

「楓 スツール」 床柱として使用されていた太さ約50センチの楓を使ったスツール。大人から子どもまで使えるようステップの高さを前後で変え、座面は紙紐を編んで作るペーパーコードを座編みし、座り心地に配慮しました(W450×D400×H700)。

参考価格 100,000円



## 玉村 嘉章

2009年 日本伝統工芸近畿展新人奨励賞。

2011年 京の若手職人総合技術コンクール最優秀賞。

「京もの認定工芸士」認定。

京の伝統工芸新人作品コンテスト優秀賞。

大山崎山荘美術館「かんさいいすなう」展招待出品。

ホテルグランヴィア京都「萌ゆる芽2011」展最優秀賞。

2012年 ルーブル美術館国際文化遺産展覧会招待出品。

2013年 京都美術工芸大学工芸学部助教就任。

〒622-0041  
京都府南丹市園部町二本松1-1  
京都美術工芸大学 研究室3  
TEL.0771-63-1515  
FAX.0771-63-5575  
Eメール tamamura-y@kyobi.ac.jp

棚や箆笥、椅子などの家具のほか、食器やおもちゃなども製作。京都美術工芸大学では助教として百貨店と連携したものづくりプロジェクトで学生を指導し、次の世代とともにものづくりについて考える活動もしています。一つのモノ・道具が暮らしを豊かにしてくれるとの信条の下、木の素材を生かし、デザインはシンプルに、しかし仕事は丁寧をモットーに何代も受け継がれるものづくりを目指しています。

丁寧で作られた道具は  
暮らしを豊かにする

◆京もの認定工芸士とは…  
京都の伝統工芸品(京もの)の製造に従事し、特に優れた技術をもった意欲ある若手職人に京都府知事から授与される称号。

京もの認定工芸士 第58号

たまむら  
よしあき  
玉村 嘉章

